

平成 31 (2019) 年度 東北大学法科大学院入学試験 一般選抜 (前期)  
試験科目 : 民事法 (商法)

第 1 問 株主との合意によって自己株式を取得する場合に、原則として会社法 156 条から 159 条までの手続を履践することが求められているのはなぜか、簡潔に (5 行程度) 説明しなさい。

第 2 問 他の取締役が行った違法行為により、取締役が対会社責任を負うことがあるかについて、簡潔に (5 行程度) 説明しなさい。

第 3 問 合併等の差止請求 (会社法 784 条の 2, 796 条の 2) において、法令・定款違反 (各条 1 号) とは違って、対価が不相当な場合 (各条 2 号) が差止事由となるのは、略式合併等 (会社法 784 条 1 項, 796 条 1 項) の場合に限られているのはなぜか、簡潔に (5 行程度) 説明しなさい。

第 4 問 監査役が行う会計監査と業務監査とは、それぞれどのようなものか、簡潔に (5 行程度) 説明しなさい。

第 5 問 株式会社の設立に際し、現物出資 (会社法 28 条 1 号) について厳格な規制が定められているのはなぜか、簡潔に (5 行程度) 説明しなさい。